

2019 年度

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

地 理

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A（マークシート）と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A（マークシート）の受験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A（マークシート）への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A（マークシート）の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。
(解答例)

(12)

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄

(12)

 の ㉓ にマークすること。
なお、2 桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。
例えば、空欄

(19)

(20)

 の解答が 3 6 の場合、解答欄

(19)

 の ㉓ にマークし、解答欄

(20)

 の ㉖ にマークする。
 5. 解答用紙 A（マークシート）への解答で、同じ語句が複数回使われる場合がある。
 6. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
 7. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

ケッペンの気候区分とは、地域ごとの様々な植生を考慮して、気温と降水量から世界中の気候を分類したものである。特に樹木の有無に注目して、熱帯と温帯、冷帯の3つが樹木気候、また乾燥帯と寒帯の2つが無樹木気候として区分される。さらにこれらは以下のように細分化される。

熱帯には、Af という記号の熱帯雨林気候と Aw と記される (1) (2) 気候がある。熱帯雨林は南アメリカでは (3) (4) といわれ、またアフリカで (1) (2) と称される長草草原は、ブラジル高原では (5) (6) といわれる。なお熱帯にひろがる一般的な土壌は (7) (8) である。温帯の気候区分は、Cs の地中海性気候と Cw の温帯 (9) (10) 気候、Cfa の温暖湿潤気候、Cfb の (11) (12) 気候からなる。温帯での植生は、常緑広葉樹から落葉広葉樹および、広葉樹と針葉樹の混合林まで多岐に及んでいて、常緑広葉樹は Cs では (13) (14) 樹、Cw では (15) (16) 樹が多い。温帯の代表的な土壌は (あ) 森林土である。冷帯の気候は Df の冷帯湿潤気候と Dw の冷帯 (17) (18) 気候の2つである。冷帯の植生は広葉樹と針葉樹の混合林から針葉樹の純林となっていて、その土壌は (19) (20) である。

他方、無樹木気候の区分では、乾燥帯が BW の砂漠気候と BS の (21) (22) 気候である。南アメリカの (23) (24) は (ア) 典型的な海岸砂漠である。BS 気候の一部地域では植生があり、その土壌は、(い) により農業が可能な栗色土や、比較的降水量のある地域では (う) 層という栄養分に富んだ黒色土が分布していて、ウクライナの (25) (26) は穀倉地帯となっている。最後に寒帯は EF の冰雪気候と ET のツンドラ気候からなる。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (25) (26) にあてはまる最も適切な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|-------------|-----------|----------|---------|
| 11 アタカマ砂漠 | 12 陰葉 | 13 夏季少雨 | 14 カルスト |
| 15 カンボセラード | 16 硬葉 | 17 紅葉 | 18 サバナ |
| 19 サファリ | 20 ジャングル | 21 照葉 | 22 ステップ |
| 23 西岸海洋性 | 24 セルバ | 25 浅堆 | 26 タイガ |
| 27 タケラマカン砂漠 | 28 チェルノゼム | 29 東岸海洋性 | 30 冬季少雨 |
| 31 ナミブ砂漠 | 32 プレーリー土 | 33 偏西風 | 34 貿易風 |
| 35 ポドゾル | 36 モレーン | 37 ラトソル | 38 リャノ |

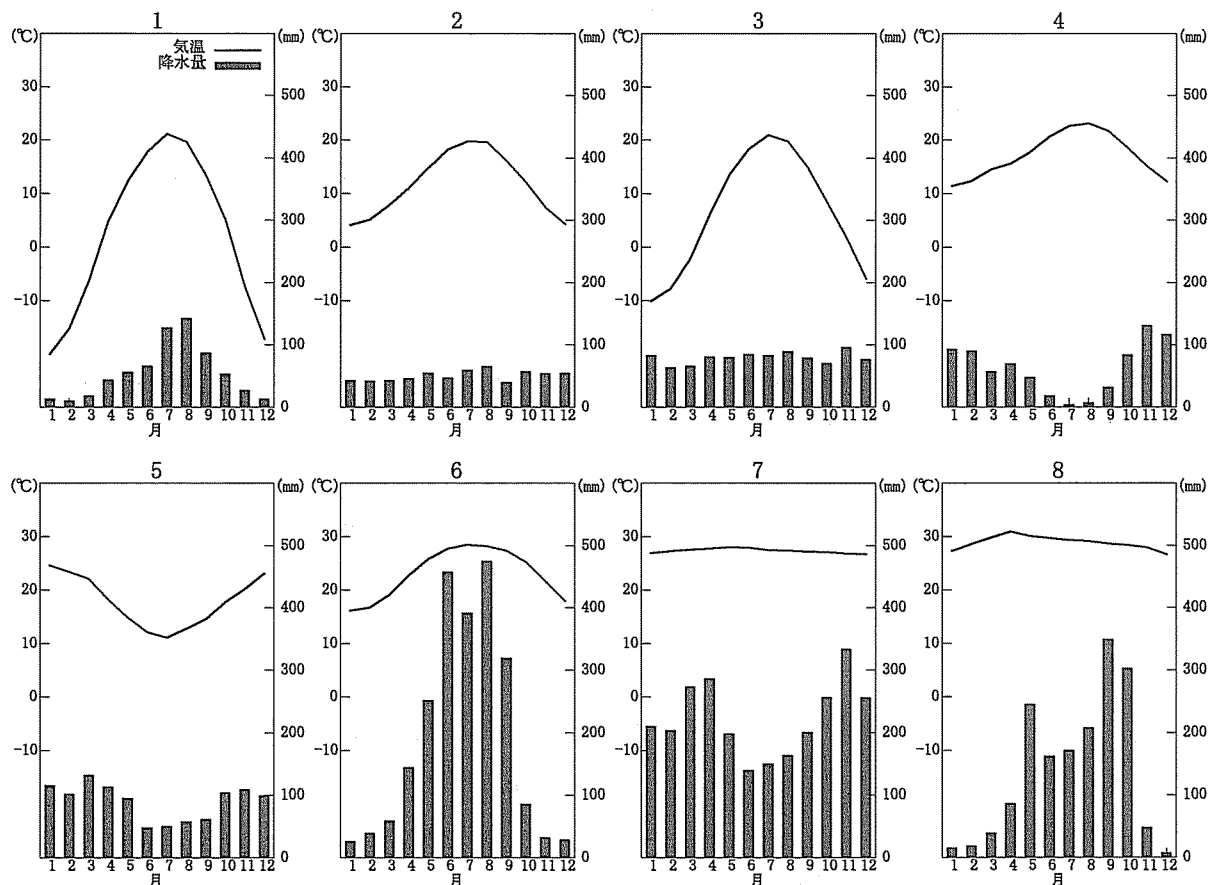
問2 熱帯と温帯の各気候区分に属する代表的な都市とその雨温図は、次の表のようにまとめられる。表の空欄 (27) ～ (32) に該当する最も適切な都市の名前、および空欄 (33) ～ (38) にあてはまる最も適切な雨温図を以下からそれぞれ選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

	Af	Aw	Cs	Cw	Cfa	Cfb
都 市	(27)	(28)	(29)	(30)	(31)	(32)
雨温図	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)

《都市》

- 1 クアラルンプール 2 ハバロフスク 3 パリ 4 バンコク
5 ブエノスアイレス 6 ホンコン 7 モントリオール 8 リスボン

《雨温図》



(気象庁 世界の天候データツール)

問3 文中の空欄（あ）～（う）にあてはまる最も適切な語句をそれぞれ漢字2字で答えなさい。
解答は解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

問4 文中の下線部（ア）について、海岸砂漠が生成される理由を30字以内で述べなさい。解答は解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

文化は、生活文化であれ精神文化であれ、発祥する土地の自然環境によって培われ、他地域に伝播する。しかし、政治的境界が人為的に策定され、これが文化的境界と一致しない場合、しばしば深刻な問題が生じる。このような事情を、文化的共通点が多い西アジアおよび中央アジア、ならびに北アフリカを例にとって見てみよう。

乾燥した気候が優勢な西アジアと中央アジアでは、古代より (39) (40) や (41) (42) のほとりに集落や都市が栄え、 (43) (44) などの東西交易路が発達すると異なる文化圏の人やものが行き交うようになった。西アジアでは約1万年前に (45) (46) の栽培が始まった。またここでは、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の三大 (47) (48) が生まれ、これら3宗教に共通の聖地 (49) (50) はヨーロッパ中世に作成された (51) (52) の中心となった。キリスト教は地中海沿岸の北アフリカやヨーロッパに西アジアから広がった。その後イスラム教も西アジアから北アフリカに広がり、8世紀前半には (53) (54) 海峡を経由して (55) (56) 半島にまで勢力を伸ばした。

このようにして、中央アジア、西アジア、北アフリカではイスラム教が優勢となり、アラビア語とアラブ系民族が多数派を占めることになった。とはいえ、古代から諸文化の交流が繰り返されてきたこれらの地域における言語、民族、宗教の状況は一様ではない。例えば、ユダヤ人の言語は、アラビア語と同じ (57) (58) 族でも (59) (60) である。また、これらの地域では、 (57) (58) 族の他に、インド＝ヨーロッパ語族や (61) (62) 族の言語も使用されている。

さらにこれら地域には、オスマン帝国やロシアといった周辺の強国やヨーロッパ列強が政治的・経済的利益を目当てに進出して領土の支配や分割を行った結果、今日もなお解決困難な民族問題がいくつも生じた。最も重要なのは (63) (64) 問題である。この地域で多数派を占めていたのはイスラム教徒の (63) (64) 人だったが、ヨーロッパにおける迫害などにより19世紀末から (65) (66) 運動が活発になってユダヤ人の流入が増え始めた。このような状況下で第一次世界大戦中に (67) (68) が行った二重外交によって始まった紛争は、第二次世界大戦後のイスラエル建国後に深刻化し、今もなお続いている。また、トルコ、イラク、イラン、シリアなどにまたがって居住し独立や自治を求めている (69) (70) 人からは多くの難民が生じている。これは、第一次世界大戦におけるオスマン帝国の敗北に伴って (67) (68) や (71) (72) が行ったオスマン帝国領の分割に起因する問題である。

近年、産油国の中には、流入するオイルマネーをもとに国内の政治経済の安定化をはかり、(ア)産業の多角化によって石油依存からの脱却を目指している国々もある。このような動向は(イ)資源のほとんどを輸入に頼っている日本にとっても重要である。

問1 文中の空欄 (39) (40) ～ (71) (72) にあてはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 NS マップ	12 TO マップ	13 UTC マップ	14 アフロ＝アジア語
15 アルタイ語	16 イギリス	17 一神教	18 一帯一路
19 イベリア	20 インティファダー	21 ウイグル	22 ウラル語
23 エルサレム	24 オアシス	25 オランダ	26 外来河川
27 キプロス	28 ギリシャ語	29 クリミア	30 クルド
31 国際河川	32 小麦	33 シオニズム	34 ジブラルタル
35 シルクロード	36 スイス	37 多神教	38 チェチェン
39 チャパティ	40 トウモロコシ	41 ドイツ	42 バグダッド
43 バルカン	44 パレスチナ	45 フランス	46 ヘブライ語
47 ボスポラス	48 民族宗教	49 ラテン語	50 ローマ

問2 下線部（ア）について、以下はペルシャ湾岸の産油国に関する説明文である。（あ）～（う）の空欄にあてはまる最も適切な語句を、それぞれ漢字2字で答えなさい。解答は解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

ペルシャ湾岸の産油国には、石油の枯渇、原油価格の変動、（あ）年齢人口の増加などを理由に石油依存からの脱却を目指して産業の多角化につとめている国々がある。特に成長しているのはエネルギー（い）型産業や第3次産業で、他に、アルミニウム工業などの（う）指向型産業への転換もみられる。

問3 下線部（イ）について、以下の問に答えなさい。解答は解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

- 1) 下の表は日本の原油輸入相手国と取引量シェアを示している。この表から読みとれる、1990年以前と2000年以後を対比させた場合の顕著な変化は何か、25字以内で述べなさい。
- 2) そのような変化が生じた主な理由を25字以内で述べなさい。

日本の原油輸入相手国と取引量シェア（％）				
地域	1980	1990	2000	2016
中東	73.3	70.9	85.9	86.4
中南米	1.7	4.2	1.0	3.7
アジア（*）	23.4	23.8	9.9	2.7
オセアニア	0	0.6	1.5	0.3

（*）中東を除く

（財務省貿易統計ほか）

Ⅲ. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

交通は地理的に離れた地域間を結ぶ機能であり、何を運ぶかにより人と物の移動に大別される。様々な交通機関はその目的や地域特性に合わせて最適な手段が選択される。航空機は他国の領土と (73) (74) の上空を許可なく飛行できない。2014年度、国際旅客数が世界で最も多い (75) (76) 空港はヨーロッパとアジアを結ぶハブ空港としても機能している。同年度の日本では (77) (78) 国際空港の国際旅客数が最も多く、かつ同年、金額ベースで日本最大の貿易港である。近年、航空交通を活発化させた理由の1つである (79) (80) は、近年特に東南アジアでは高いシェアを占めるようになった。

船舶には様々な種類があり、原油などは (81) (82) で運ばれる。2016年、世界で最もコンテナの取扱量 (TEU 換算) が多い港はチャンチャンの三角州に位置する (83) (84) である。(あ) 式運河であるパナマ運河は、長く (85) (86) の管理下にあったが、1999年にパナマに返還された。東京・横浜からロッテルダムへ向かう代表的なスエズ運河航路は順に、マラッカ海峡、(87) (88) 海峡、スエズ運河を通してロッテルダムに到着する。また現在では、地球温暖化の影響により、日本とヨーロッパを結ぶ航路として (い) 海航路が注目されており、スエズ運河航路に比べて時間や燃料が大幅に節約できる。

日本やヨーロッパのように人口密度の高い地域では、日本の新幹線やフランスの (89) (90) など、都市間高速鉄道が整備されている。鉄道は物流にも利用されており、(う) の援助で1975年に完成したタンザン鉄道は銅鉱石を運搬するために建設された。

陸上交通の主役は自動車で、世界各地でモータリゼーションが進んでいる。次世代を担う新しい自動車として、ハイブリッドカーや電気自動車、(91) (92) を燃料として利用する燃料電池自動車が開発されている。ブラジルでは (93) (94) からバイオエタノールが作られ、自動車の燃料に利用されている。道路混雑を緩和するために、都心部を走行する自動車に課金する (95) (96) が、ロンドンやシンガポールなどで導入されている。陸上交通の手段には、地域の自然に根差した伝統的手段もあり、例えばチベットやヒマラヤでは (97) (98) が荷役などのために飼育されている。

問1 文中の空欄 (73) (74) ～ (97) (98) に当てはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|-----------|----------------|----------------|------------|
| 11 AVE | 12 ICE | 13 LCC | 14 LNG |
| 15 LRT | 16 TGV | 17 アトランタ | 18 アメリカ |
| 19 アルパカ | 20 イギリス | 21 関西 | 22 公海 |
| 23 コワンチョウ | 24 コンテナ船 | 25 サトウキビ | 26 シェンチェン |
| 27 シャンハイ | 28 新東京 | 29 水素 | 30 スペイン |
| 31 タンカー | 32 炭素税 | 33 東京 | 34 トウモロコシ |
| 35 ドバイ | 36 パークアンドライド方式 | | 37 排他的経済水域 |
| 38 ばら積み船 | 39 ホルムズ | 40 マンダブ | 41 ヤク |
| 42 リヤマ | 43 領海 | 44 ロードプライシング制度 | |
| 45 ロンボク | | | |

問2 以下の文中の空欄 (99) ～ (101) にあてはまる最も適切な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

2013年の日本における主な輸出入品目のシェア (金額ベース) を見ると、航空輸送による輸出品目の第一位は (99)，輸入品目の第一位は (100)，海上輸送による輸入品目の第一位は (101) である。

《語群》 1 液化ガス 2 化学品 (医薬品など) 3 機械類 4 原油 5 自動車 6 半導体など

問3 以下の表は、2009年の世界各国における旅客と貨物の輸送手段別シェアを示している。表中の (a) ～ (e) には下の語群の輸送手段があてはまる。そのうち (a) と (b) に該当するものを答えなさい。解答は解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。(a) の解答は (102) に、(b) の解答は (103) にマークしなさい。

国	旅客 (人×km)			貨物 (トン×km)			
	(a)	(d)	(e)	(a)	(d)	(b)	(c)
日 本	28.7%	65.6%	5.5%	3.9%	63.9%	32.0%	
アメリカ	0.1%	88.4%	11.5%	38.4%	31.4%	15.1%	14.7%
ドイツ	9.4%	90.0%	0.6%	23.2%	59.3%	13.5%	3.9%

(国土交通省資料：アメリカの貨物のみ2003年)

《語群》 1 航空 2 自動車 3 船舶 4 鉄道 5 パイプライン

問4 以下の表は、日本における商業集積地区の立地環境による小売業の事業所数シェアを示している。百貨店と総合スーパーは、衣食住にわたる各種商品を小売りする業態である。百貨店と専門店は対面販売が多い業態である。表中の (a) ～ (c) には下の語群の立地環境があてはまる。そのうち (a) と (c) に該当するものを答えなさい。解答は解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。(a) の解答は (104) に、(c) の解答は (105) にマークしなさい。

	百貨店	総合スーパー	コンビニエンスストア	専門店
(a)	53.4%	27.8%	44.8%	36.0%
市街地	33.7%	15.5%	15.9%	23.2%
(b)	6.7%	19.7%	28.8%	28.1%
(c)	4.5%	34.9%	8.4%	9.6%

(平成26年 商業統計)

《語群》 1 駅周辺 2 住宅地 (住宅地区に隣接する商業集積地区)
3 ロードサイド (国道や主要道路の沿線を中心に立地している商業集積地区)

問5 文中の空欄 (あ) ～ (う) に入る最も適切な語句を、漢字2字で答えなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問6 ドイツやフランスなどでは、河川を利用した内陸水運が発達してきた。これは河川のどのような自然の特徴によるものか。25字以内で述べなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

《以下余白》